

## 四街道市総合計画後期基本計画策定スケジュール

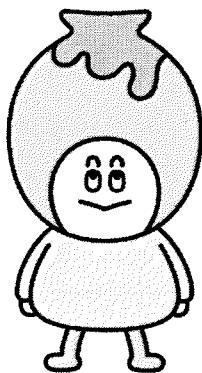
6月14日 総務常任委員会協議会 資料No.1

市民参加	29年度												30年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
市民会議手帳(ワークショップ)													◎市への提言 ①ワークショップ ②意見交換会												
(仮称)学生・子育て世代インタビュー																									
意見交換会手続(タウンミーティング)													各中立校巡回 ◎タウンミーティング												
意見提出手続(ハーブリックコメント)																									
審議会等手続 (四街道市総合計画審議会)													第1回 ◎スケジュール/策定方針	第2回 ◎前期基本計画進捗骨子案	第3回 ◎前期評価見込み	第4回 ◎審査	第5回 ◎答申	第6回 ◎審査							
府内	29年度												30年度												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月				
四街道市総合計画推進本部 推進委員会策定部会 各課			第1回 ◎スケジュール/策定方針決定				第2回 ◎前期基本計画進捗状況 ◎骨子案(施設体系)	第3回 ◎前期評価見込み					第4回 ◎骨子案(施設体系) ◎計画事業について	第5回 ◎計画事業について								第6回 ◎計画原案			
四街道市総合計画推進本部 推進委員会策定部会 各課			第1回 ◎スケジュール/策定方針決定 ◎調査開始(依頼)										第2回 ◎各課ヒアリング ◎事業費内示/前期評価見込み	第3回 ◎事業費内示/前期評価見込み											
前期基本計画進捗状況(仮評価) 後期基本計画事業調査及びアーリーリング													適宜開催(項目候補) ◎リードイングプロジェクト案	適宜(事業内容検討) ◎リードイングプロジェクト案											
四街道市総合計画推進本部 推進委員会)一データプロジェクト専門 部会													◎骨子案												
四街道市総合計画後期基本計画													◎策定スケジュール ◎策定方針										◎計画原案 最終) ◎収集工程		



# 四街道市総合計画

## 後期基本計画策定方針



平成29年5月

四街道市経営企画部政策推進課

## 1. 計画策定の趣旨

四街道市では、平成26年度から平成35年度までの基本構想と前期、後期の各5年を計画期間とする基本計画で構成する「四街道市総合計画」（以下「総合計画」という。）を平成26年3月に策定しました。

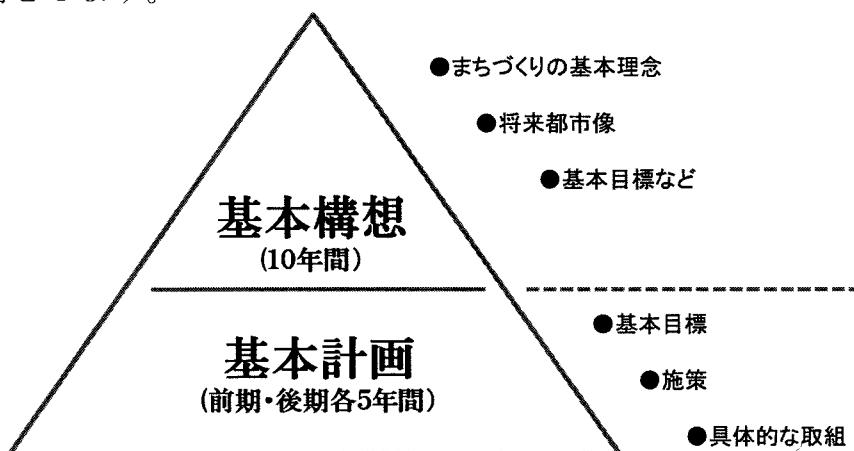
この基本構想では、将来都市像として「人みどり子育て選ばれる安心快適都市 四街道」を掲げ、「四街道市総合計画前期基本計画」（以下「前期基本計画」という。）において、その実現に向けた諸施策の進展を図ってきました。

この前期基本計画は、平成30年度末をもって終了することから、前期基本計画の実施状況や課題等を整理・分析するとともに、その深化・充実を図りながら、将来都市像の実現を目指すための計画として、「四街道市総合計画後期基本計画」（以下「後期基本計画」という。）を策定します。

## 2. 計画の構成と期間

総合計画は、時代の潮流や市の現状と課題、市民の声に鑑み、基本理念や将来都市像など、目指すべきまちづくりの方向性を示したものであり、今回はその基本構想の計画期間に該当するため、現在の構成を継続します。

のことから、後期基本計画の計画期間は、平成31年度から平成35年度までの5年間とします。



計画期間	平成26年度～平成35年度
基本理念	「みんなが主役のまちづくり」
将来都市像	「人みどり子育て選ばれる安心快適都市 四街道」
基本目標	(1) だれもが健康でいきいき暮らせるまち (2) 安全・安心を実現するまち (3) 豊かな心を育み学ぶ喜びを実感できるまち (4) みどりと都市が調和したうるおいのあるまち (5) にぎわいと活力にあふれるまち (6) ともに創る将来に向けて持続可能なまち

年 度	26年度 (2014)	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	32年度 (2020)	33年度 (2021)	34年度 (2022)	35年度 (2023)
基本構想 (10年)	<b>基本構想</b> 目標年度:平成 35 年度(2023 年度)									
基本計画 (前期 5 年) (後期 5 年)	前期基本計画 平成 26 年度(2014 年度)～平成 30 年度(2018 年度)					後期基本計画 平成 31 年度(2019 年度)～平成 35 年度(2023 年度)				

### 3. 計画策定に当たっての考え方

#### (1) 社会状況や市民ニーズの把握・分析

前期基本計画での実施状況や解消すべき諸課題、さらに、市を取り巻く社会状況や行政需要の変化及び市民意識調査に基づく市民ニーズを把握・分析し、これらの課題等を認識したうえで、計画の策定を進めます。

#### (2) 実効性のある計画

市の財政状況を踏まえつつ、将来都市像の実現に向け、重要度の高い施策や緊急性の高い事業等を選択しながら、財源見通しに基づく効率的で実効性のある計画とします。

#### (3) 充実した市民参加

「四街道市市民参加条例」に基づく市民会議手続や意見提出手続などの市民参加手続を実施しながら、透明性の確保や市民意見・意向の把握、市民の市政への参加を促進するなど、充実した市民参加を実施します。

#### (4) 地方創生への対応

将来的に見込まれる人口減少や人口構成の不均衡への対応を主要な目的のひとつとする総合計画と人口減少の克服・地方創生を目的とする「四街道市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(以下「総合戦略」という。)の基本的な考え方が一致していることから、総合戦略との整合性を十分に図ります。また、前期基本計画において、先導的な役割を担う事業として設定した「四街道未来創造プロジェクト」を見直し、その考え方を踏襲しながら、移住・定住などの短期的な施策のほか、自然動態を見据えた長期的な施策として地方創生への対応も位置づけます。

### 4. 計画の策定体制

#### (1) 市民参加

後期基本計画の策定過程においては、「四街道市総合計画審議会」への市民の参画をはじめ、市民意識調査結果の活用や市民意見提出手続き(パブリックコメント)等の実施など、幅広く市民等の意見やニーズの把握に努めることとし、これを十分に活かした計画の策定を目指します。

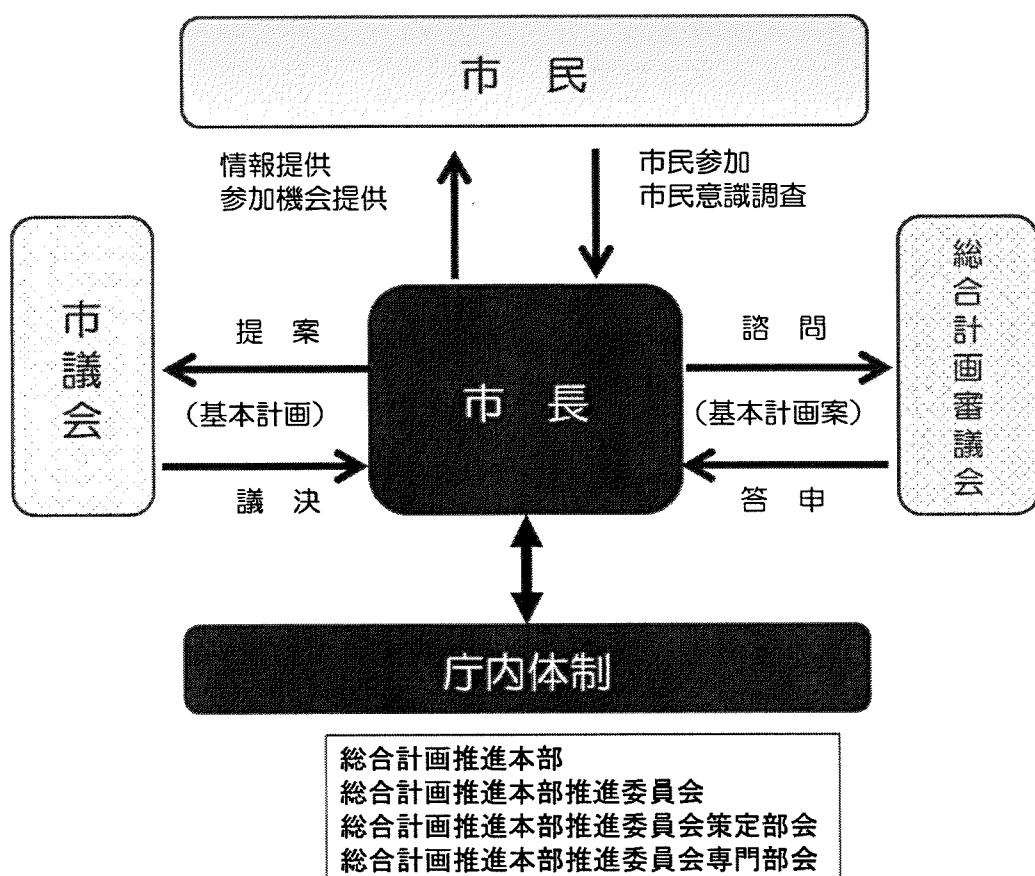
#### (2) 四街道市総合計画審議会

後期基本計画案の作成に当たっては、市民や関係団体、外部有識者等で構成する「四街道市総合計画審議会」を設置します。また、本審議会では、市

長の諮問に基づき、必要な調査・審議を行うことで、各分野の専門的な知見を集約し、これを後期基本計画案の作成に有効に活用します。

### (3) 四街道市総合計画推進本部

後期基本計画の策定に当たっては、市長を本部長とする「四街道市総合計画推進本部」において、組織横断的な調整、調査・検討を行い、庁内での最終的な意思決定を行うものとします。なお、前期基本計画において設定した「四街道未来創造プロジェクト」については、後期基本計画のリーディングプロジェクトとして更なる磨き上げを図るため、新たに専門部会を設置して検討します。



#### 庁内体制

##### 【総合計画推進本部構成】

市長、副市長、危機管理監、経営企画部長、総務部長、福祉サービス部長、健康こども部長、環境経済部長、都市部長、上下水道部長、教育長、教育部長、消防長

##### 【総合計画推進本部推進委員会構成】

副市長、経営企画部長、経営企画部次長、総務部次長、福祉サービス部次長、健康こども部次長、環境経済部次長、都市部次長、教育部次長、消防本部次長

##### 【総合計画推進本部推進委員会策定部会構成】

各所属から所属長の推薦により選出した者

##### 【総合計画推進本部推進委員会専門部会構成】

専門的な調査が必要と認めるときに設置

## 5. 計画の策定スケジュール

後期基本計画は、平成30年度中に策定するものとします。なお、個別の作業スケジュールについては、その実施段階において、適切な進捗管理の下、必要な調整を行うこととします。



# 四街道市市民意識調査報告書

【平成28年11月実施】 (概要版)

(187万ぐら)

~「四街道市に住み続けたい」が76.3%に微増(前回74.2%)~

本書は、平成31年度を開始年度とする総合計画（後期基本計画）策定に向けて、市民の意向を把握することにより、四街道市の現状及び課題を抽出し、行政運営方針や計画立案のための基礎資料とすることを目的に、実施した市民意識調査報告書の概要をまとめたものです。

## 調査概要

調査設計	◆調査地域 四街道市全域 ◆標本数 3,000人 (18歳以上の男女) ◆抽出方法 住民基本台帳による無作為抽出 ◆調査方法 郵送による ◆調査期間 平成28年11月14日～11月28日 ◆回収結果 有効回収標本数 1,549人 有効回答率 51.6%
調査項目	1 四街道市の住み心地について 2 日常生活の活動について 3 四街道市のまちづくりについて 4 今後の人口減少を緩やかにする取組について

※表中の比率(%)は、小数点第2位以下を四捨五入しています。したがって、率の合計値が100%にならない場合があります。

※複数回答については、回答者数を母数とし、比率を算出しています。したがって、率の合計値が100%にならない場合があります。

## 四街道市内の地区区分

本調査における四街道市内の地区区分を下表のとおりとし、調査結果の分析ではこの6地区による集計を行うものとします。

地区名	地域名
地区A	亀崎、物井、長岡、千代田、池花、もねの里
地区B	栗山、内黒田、萱橋、大日（緑ヶ丘、桜ヶ丘以外）、つくし座、さちが丘
地区C	下志津新田、四街道、大日（緑ヶ丘、桜ヶ丘）、鹿放ヶ丘、さつきヶ丘、中央
地区D	鹿渡、和良比、みのり町、美しが丘、めいわ
地区E	山梨、小名木、成山、中台、中野、南波佐間、上野、和田、旭ヶ丘、みそら
地区F	吉岡、鷹の台

## 1. 回答者属性

### (1) 性別

性別	回答者数 (人)	構成比 (%)
男性	706	( 45.6 )
女性	837	( 54.0 )
無回答	6	( 0.4 )
合計	1,549	( 100.0 )

### (2) 年代別

年代	回答者数 (人)	構成比 (%)
20歳代以下	100	( 6.5 )
30歳代	189	( 12.2 )
40歳代	259	( 16.7 )
50歳代	203	( 13.1 )
60歳代	346	( 22.3 )
70歳代以上	446	( 28.8 )
無回答	6	( 0.4 )
合計	1,549	( 100.0 )

### (4) 家族構成

家族構成	回答者数 (人)	構成比 (%)
一人暮らし	130	( 8.4 )
1世代世帯(夫婦だけ)	474	( 30.6 )
2世代世帯(親と子)	783	( 50.5 )
3世代世帯	111	( 7.2 )
その他の世帯	42	( 2.7 )
無回答	9	( 0.6 )
合計	1,549	( 100.0 )

### (3) 居住地区

地区	居住地域	回答者数 (人)	構成比 (%)
地区A n=235 15.2%	亀崎・物井・長岡	31	( 2.0 )
	千代田	136	( 8.8 )
	池花	32	( 2.1 )
	もねの里	36	( 2.3 )
地区B n=257 16.6%	栗山・内黒田・萱橋	100	( 6.5 )
	大日(緑ヶ丘、桜ヶ丘以外)	90	( 5.8 )
	つくし座	44	( 2.8 )
	さちが丘	23	( 1.5 )
地区C n=413 26.7%	下志津新田	57	( 3.7 )
	四街道	123	( 7.9 )
	大日(緑ヶ丘、桜ヶ丘)	188	( 12.1 )
	鹿放ヶ丘	15	( 1.0 )
	さつきヶ丘	10	( 0.6 )
	中央	20	( 1.3 )
地区D n=370 23.9%	鹿渡	84	( 5.4 )
	和良比	122	( 7.9 )
	みのり町	9	( 0.6 )
	美しが丘	52	( 3.4 )
	めいわ	103	( 6.6 )
地区E n=190 12.3%	山梨	7	( 0.5 )
	小名木	11	( 0.7 )
	成山・中台・中野	4	( 0.3 )
	南波佐間・上野・和田	7	( 0.5 )
	旭ヶ丘	76	( 4.9 )
	みそら	85	( 5.5 )
地区F n=77 5.0%	吉岡	13	( 0.8 )
	鷹の台	64	( 4.1 )
無回答			7 ( 0.5 )
合計			1,549 ( 100.0 )

### (5) 同居家族

同居家族	回答者数 (人)	構成比 (%)
小学校入学前の子どもがいる	178	( 11.5 )
小・中学生の子どもがいる	219	( 14.1 )
介護を必要とする家族がいる	89	( 5.7 )
65歳以上の家族がいる	662	( 42.7 )
その他	339	( 21.9 )
独身	280	( 18.1 )
無回答	150	( 9.7 )
合計	1,917	( 123.8 )
回答者数	1,549	( 100.0 )

### (6) 職業

職業	回答者数 (人)	構成比 (%)
農業	16	( 1.0 )
自営業	78	( 5.0 )
正規雇用者	399	( 25.8 )
非正規雇用者	100	( 6.5 )
アルバイト・パート	182	( 11.7 )
自由業	7	( 0.5 )
学生	30	( 1.9 )
専業主婦(夫)	313	( 20.2 )
無職	383	( 24.7 )
その他	29	( 1.9 )
無回答	12	( 0.8 )
合計	1,549	( 100.0 )

(7) 勤務地（通学地）

通勤地（通学地）	回答者数 (人)	構成比 (%)
自宅	116	( 7.5)
自宅以外の四街道市	177	( 11.4)
千葉市	236	( 15.2)
佐倉市	61	( 3.9)
その他県内	142	( 9.2)
東京都内	145	( 9.4)
県外（東京都以外）	22	( 1.4)
通勤（通学）していない	488	( 31.5)
無回答	162	( 10.5)
合計	1,549	( 100.0)

(8) 居住年数

居住年数	回答者数 (人)	構成比 (%)
生まれたときから	116	( 7.5)
1年未満	27	( 1.7)
1年以上5年未満	93	( 6.0)
5年以上10年未満	130	( 8.4)
10年以上20年未満	272	( 17.6)
20年以上30年未満	294	( 19.0)
30年以上	607	( 39.2)
無回答	10	( 0.6)
合計	1,549	( 100.0)

(9) 居住形態

居住形態	回答者数 (人)	構成比 (%)
一戸建て持ち家	1,260	( 81.3)
一戸建て借家	30	( 1.9)
分譲のマンション等	103	( 6.6)
賃貸のマンション等	120	( 7.7)
公営住宅	9	( 0.6)
社宅、官舎、寮等	7	( 0.5)
その他	11	( 0.7)
無回答	9	( 0.6)
合計	1,549	( 100.0)

## 2. 四街道市の住み心地について

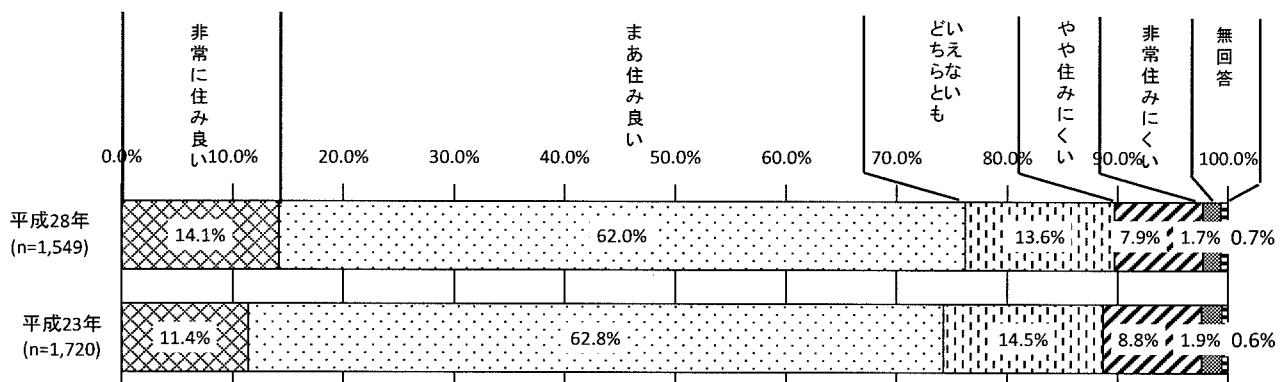
### (1) 住み良さに対する意識

問1 あなたにとって、四街道市は、住み良いところですか。(1つに○)

7割以上が、四街道市は“住み良い”と感じている

■住み良さについてみると、「非常に住み良い」14.1%、「まあ住み良い」62.0%で、両者を合わせた76.1%が“住み良い”と感じています。一方、「やや住みにくい」は7.9%、「非常に住みにくい」は1.7%となっています。

■これを平成23年調査の回答結果と比較すると、“住み良い”と回答した人の割合は1.9%増加し、“住みにくい”（「やや住みにくい」+「非常に住みにくい」）は1.1%減少しています。



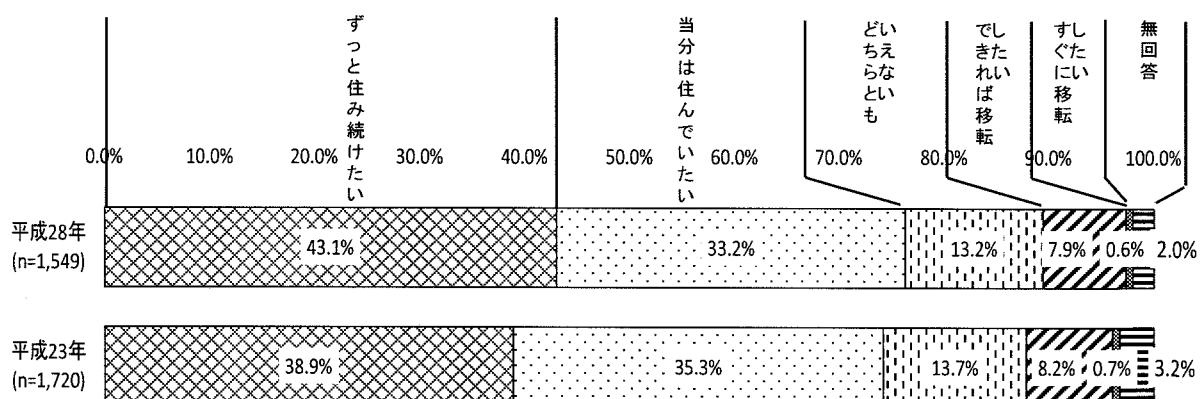
### (2) 定住意識

問2 あなたは、これからも四街道市に住み続けたいと思いますか。(1つに○)

“ずっと住み続けたい”という回答が過去と比べ増加

■「ずっと住み続けたい」43.1%、「当分は住んでいたい」33.2%で、両者を合わせた76.3%が“住み続けたい”と回答しています。一方、「できれば移転したい」は7.9%、「すぐに移転したい」は0.6%となっています。

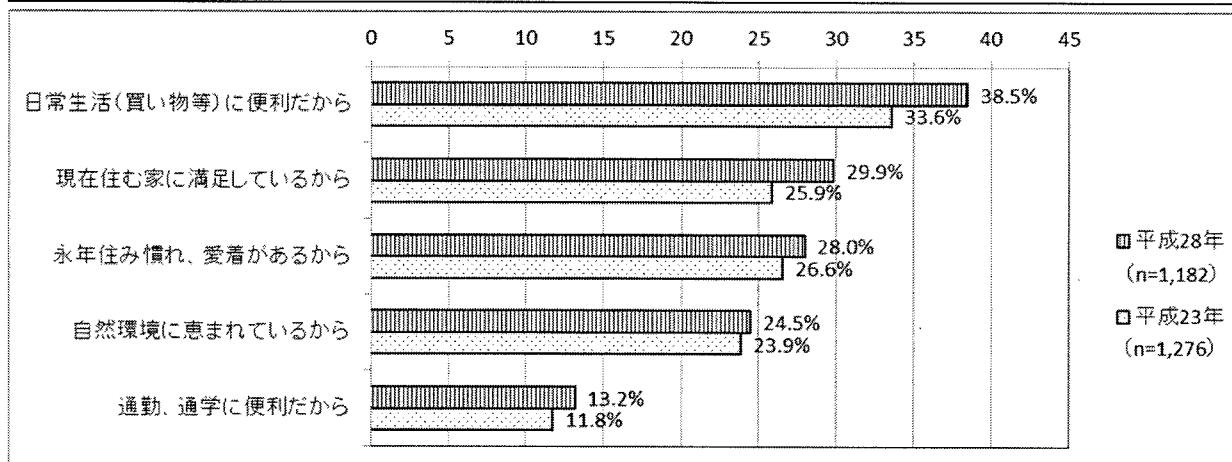
■平成23年調査の回答結果と比較すると、“住み続けたい”と回答した人の割合は2.1%増加し、“移転したい”（「できれば移転したい」+「すぐに移転したい」）と回答した人の割合は0.4%減少しています。



### (3) 住み続けたい理由（問2で「ずっと住み続けたい」、「当分は住んでいたい」を選ばれた方）

#### 「日常生活（買い物等）に便利だから」が約4割で第1位

■住み続けたい理由は、「日常生活（買い物等）に便利だから」38.5%が最も高く※、次いで「現在住む家に満足しているから」29.9%、「永年住み慣れ、愛着があるから」28.0%の順となっています。（※項目は14項目）



### (4) 移転したい理由（問2で「できれば移転したい」、「すぐに移転したい」を選ばれた方）

#### 「日常生活（買い物等）に不便だから」が第1位

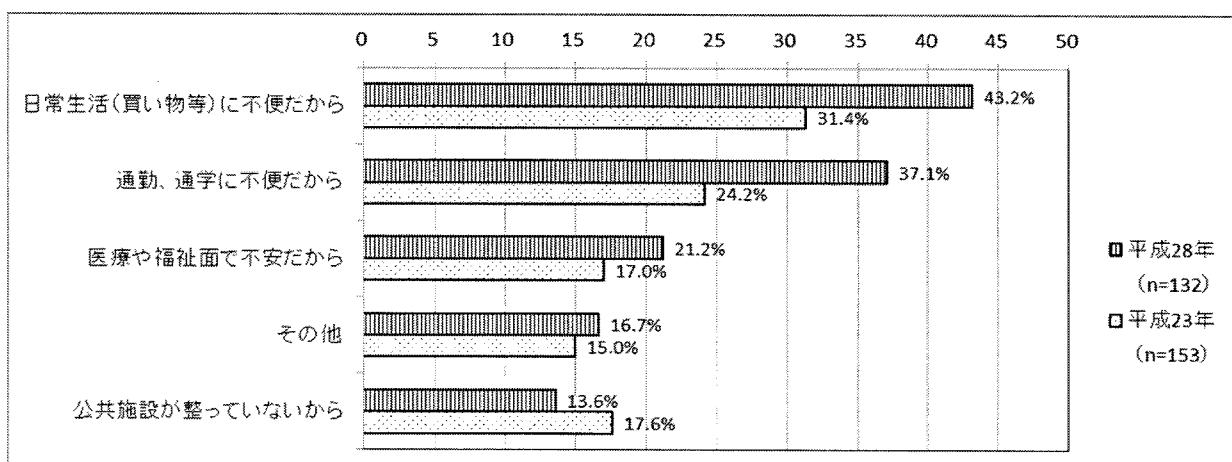
■移転したい理由は、「日常生活（買い物等）に不便だから」の43.2%が最も高く※、次いで「通勤、通学に不便だから」37.1%、「医療や福祉面で不安だから」21.2%などとなっています。

（※項目は14項目）

■平成23年と比較すると、「日常生活（買い物等）に不便だから」が増加しています。

地区別の回答※をみると、地区A（亀崎、千代田他）、地区B（栗山、内黒田他）、地区E（山梨、みそら他）では、「日常生活（買い物等）に不便だから」が最も高くなっています。

（※地区別の回答は、本編の同項目に掲載しています。）



## (5) 四街道市を好きと感じているか

問3 あなたは、四街道市を好きと感じていますか。(1つに○)

7割以上が、四街道市を“好き”と感じている

- 四街道市を好きと感じているかどうかについては、「好きと感じている」25.0%、「まあ好きと感じている」48.4%で、両者を合わせた73.4%が四街道を“好き”と感じています。
- 一方、「やや嫌いと感じている」は2.3%、「嫌いと感じている」は0.9%となっています。

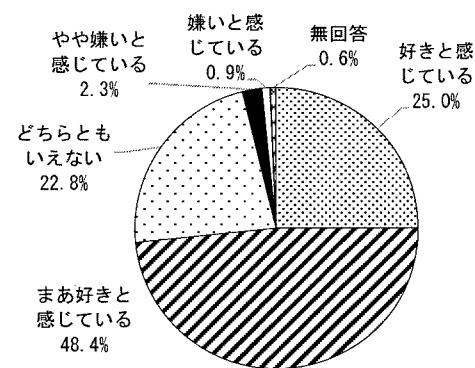


図 四街道を好きと感じているかどうか (n=1,549)

## 3. 日常生活の活動について

### (1) 日常生活で主に利用している市町村

問3 あなたは、日常生活における次の活動について、主にどの市町村を利用していますか。(1つに○)

「食料品の買い物」は8割以上が市内を利用

「芸術鑑賞・映画鑑賞など」は他市の割合が高い

#### ①通勤・通学（幼稚園・保育園などへの送迎も含む）

四街道市内へ通っている割合が24.6%と最も高く、次いで千葉市15.0%、県外10.7%となっています。

#### ②食料品の買い物

四街道市内の利用割合が80.9%と圧倒的に高く、次いで佐倉市7.2%、千葉市7.1%となっています。

#### ③衣料品の買い物

四街道市内の利用割合が48.4%と最も高く、次いで千葉市25.8%となっています。

#### ④家電製品・家具などの買い物

四街道市内の利用割合が54.0%と最も高く、次いで千葉市26.2%となっています。

#### ⑤芸術鑑賞・映画鑑賞など

千葉市の利用割合が36.9%と最も高く、次いで県外19.6%、佐倉市14.0%となっています。

四街道市内は4.5%にとどまっており、市外への流出が顕著に表れています。

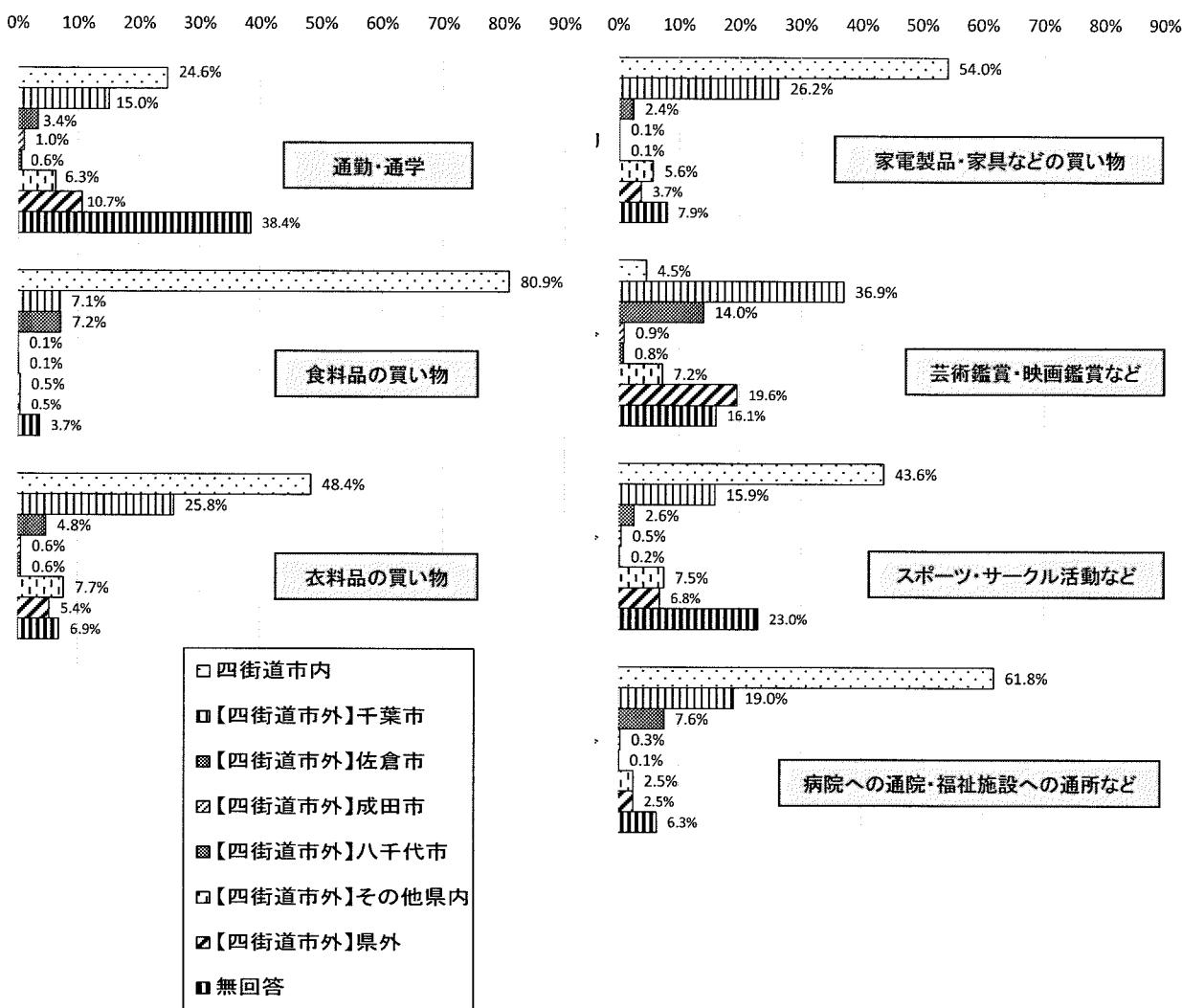
#### ⑥スポーツ・サークル活動など

四街道市内の利用割合が43.6%と最も高く、次いで千葉市15.9%となっています。

#### ⑦病院への通院・福祉施設への通所など

四街道市内の利用割合が61.8%で最も高く、次いで千葉市19.0%、佐倉市7.6%となっています。

図 日常生活で主に利用している市町村 (n=1,549)



#### 4. 四街道市のまちづくりについて

##### (1) 施策の取組状況に対する現在の満足度及び今後の重要度

問4 あなたは、次の項目（1～23）※について、どの程度満足されていますか。また、今後どのくらい重要なと思いますか。（それぞれ1つずつに○）

##### ■現在の満足度

「生活基盤」の満足度が最も高く、「道路・交通」の不満度が最も高い

- 満足度が高い（「満足」 + 「どちらかといえば満足」の合計）施策分野は、「生活基盤」が 42.2%、「消防・救急」39.2%、「住環境」35.1%、「循環型社会」33.3%、「環境保全」28.2%となっています。
- 不満度が高い（「どちらかといえば不満」 + 「不満」の合計）施策分野は「道路・交通」の 38.9%のほか、「市街地形成」29.9%、「産業・就業支援」21.5%、「行財政運営」18.7%、「社会保障」18.6%となっています。

※次ページ1～23の項目

表 主な施策分野に対する現在の満足度

n = 1,549 (単位 : %)

項目	満足 + どちらかと いえば満足			どちらで もない	どちらかと いえば不満 + 不満		
		満足	どちらかと いえば満足			どちらかと いえば不満	不満
1 子ども家庭支援	26.3	4.2	22.1	48.0	11.8	9.2	2.6
2 高齢者支援	21.0	3.1	17.9	55.6	17.2	13.6	3.6
3 障害者支援	16.1	3.0	13.1	62.5	9.9	7.5	2.4
4 地域福祉	19.9	2.1	17.8	57.7	15.0	11.3	3.7
5 健康づくり	26.2	3.3	22.9	52.9	14.7	11.7	3.0
6 社会保障	16.4	2.6	13.8	56.9	18.6	14.0	4.6
7 防災・減災	25.6	3.5	22.1	50.9	16.1	12.7	3.4
8 消防・救急	39.2	7.6	31.6	45.9	8.7	5.9	2.8
9 防犯・交通安全・消費者保護	26.5	3.8	22.7	54.4	12.6	9.6	3.0
10 子ども教育	22.8	3.2	19.6	53.3	12.2	9.6	2.6
11 生涯学習	17.5	2.0	15.5	63.9	9.8	7.9	1.9
12 文化、スポーツ	22.8	3.0	19.8	56.6	13.6	10.0	3.6
13 環境保全	28.2	3.5	24.7	50.4	15.3	12.3	3.0
14 循環型社会	33.3	3.7	29.6	48.2	12.5	10.2	2.3
15 住環境	35.1	5.4	29.7	46.2	12.4	9.2	3.2
16 生活基盤	42.2	9.0	33.2	39.6	12.6	9.4	3.2
17 道路・交通	22.4	3.7	18.7	34.0	38.9	26.8	12.1
18 市街地形成	17.3	2.8	14.5	46.2	29.9	20.8	9.1
19 産業・就業支援	10.7	1.7	9.0	60.6	21.5	16.8	4.7
20 みんなで地域づくり	16.4	1.9	14.5	66.8	9.2	7.7	1.5
21 シティセールス	12.6	1.9	10.7	67.5	12.4	9.7	2.7
22 行財政運営	16.4	2.1	14.3	57.5	18.7	13.9	4.8
23 共生社会	10.8	1.6	9.2	74.8	7.0	5.5	1.5

## ■今後の重要度

「高齢者支援」が最も重要度が高い

■重要度が高い（「重要」 + 「まあ重要」の合計）施策分野は、「高齢者支援」の 82.4%が最も高く、「防災・減災」の 77.9%、「道路・交通」の 77.2%、「消防・救急」の 77.1%、「子ども家庭支援」の 74.1%が続いています。このうち「消防・救急」は、現在の満足度、今後の重要度のいずれも回答の割合が高くなっています。

■重要度が低い（「あまり重要ではない」 + 「重要でない」の合計）施策分野は、「共生社会」9.1%、「シティセールス」9.0%、「文化、スポーツ」5.4%、「生涯学習」5.1%、「みんなで地域づくり」4.6%、となっています。

表 主な施策分野に対するこれから的重要度

n = 1,549 (単位 : %)

項目	重要 + まあ重要	重要	まあ重要	普通	あまり重要 ではない + 重要でない	あまり重要 ではない + 重要でない	重要でない
1 子ども家庭支援	74.1	47.8	26.3	11.2	2.1	1.1	1.0
2 高齢者支援	82.4	59.7	22.7	9.2	1.6	1.1	0.5
3 障害者支援	67.9	39.2	28.7	19.3	1.8	1.3	0.5
4 地域福祉	73.8	43.5	30.3	16.7	1.3	1.0	0.3
5 健康づくり	73.1	38.3	34.8	17.8	1.6	1.4	0.2
6 社会保障	70.3	38.3	32.0	19.8	0.7	0.5	0.2
7 防災・減災	77.9	50.9	27.0	12.8	0.7	0.6	0.1
8 消防・救急	77.1	48.7	28.4	14.8	0.6	0.5	0.1
9 防犯・交通安全・消費者保護	73.5	38.5	35.0	17.4	1.1	1.0	0.1
10 子ども教育	71.8	44.4	27.4	15.9	1.5	1.0	0.5
11 生涯学習	48.9	18.1	30.8	37.2	5.1	4.1	1.0
12 文化、スポーツ	47.2	17.4	29.8	39.6	5.4	4.4	1.0
13 環境保全	63.5	26.2	37.3	26.7	1.5	1.4	0.1
14 循環型社会	66.1	29.6	36.5	24.7	1.0	0.7	0.3
15 住環境	62.1	25.9	36.2	28.1	1.6	1.5	0.1
16 生活基盤	69.9	37.2	32.7	21.4	0.6	0.5	0.1
17 道路・交通	77.2	42.0	35.2	14.6	1.3	0.8	0.5
18 市街地形成	61.5	30.0	31.5	26.7	3.6	2.6	1.0
19 産業・就業支援	53.6	21.6	32.0	34.7	3.3	2.6	0.7
20 みんなで地域づくり	43.6	14.5	29.1	43.3	4.6	3.3	1.3
21 シティセールス	38.2	13.9	24.3	44.5	9.0	6.7	2.3
22 行財政運営	61.5	30.9	30.6	28.4	1.7	1.3	0.4
23 共生社会	34.9	12.1	22.8	48.0	9.1	6.5	2.6

■ 加重平均値に基づく評価

- 「満足度」と「今後の重要度」の回答結果を、それぞれ数値化して散布図にすることで、今後、重点的に改善すべき施策分野を明らかにします。
- 散布図にしたところ、第2象限に位置したのは、「道路・交通」、「社会保障」、「高齢者支援」、「地域福祉」、「障害者支援」です。

表 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均の得点

現在の満足度		今後の重要度	
回答の選択肢	加重平均の得点	回答の選択肢	加重平均の得点
満足	5.0	重要	5.0
どちらかといえば満足	4.0	まあ重要	4.0
どちらでもない	3.0	普通	3.0
どちらかといえば不満	2.0	あまり重要ではない	2.0
不満	1.0	重要でない	1.0

図 満足度・重要度散布図の概念

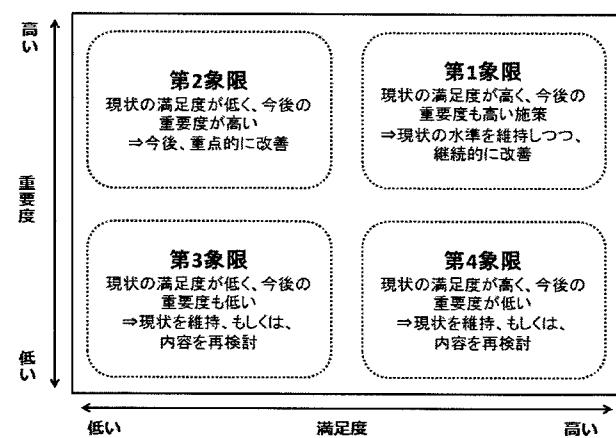
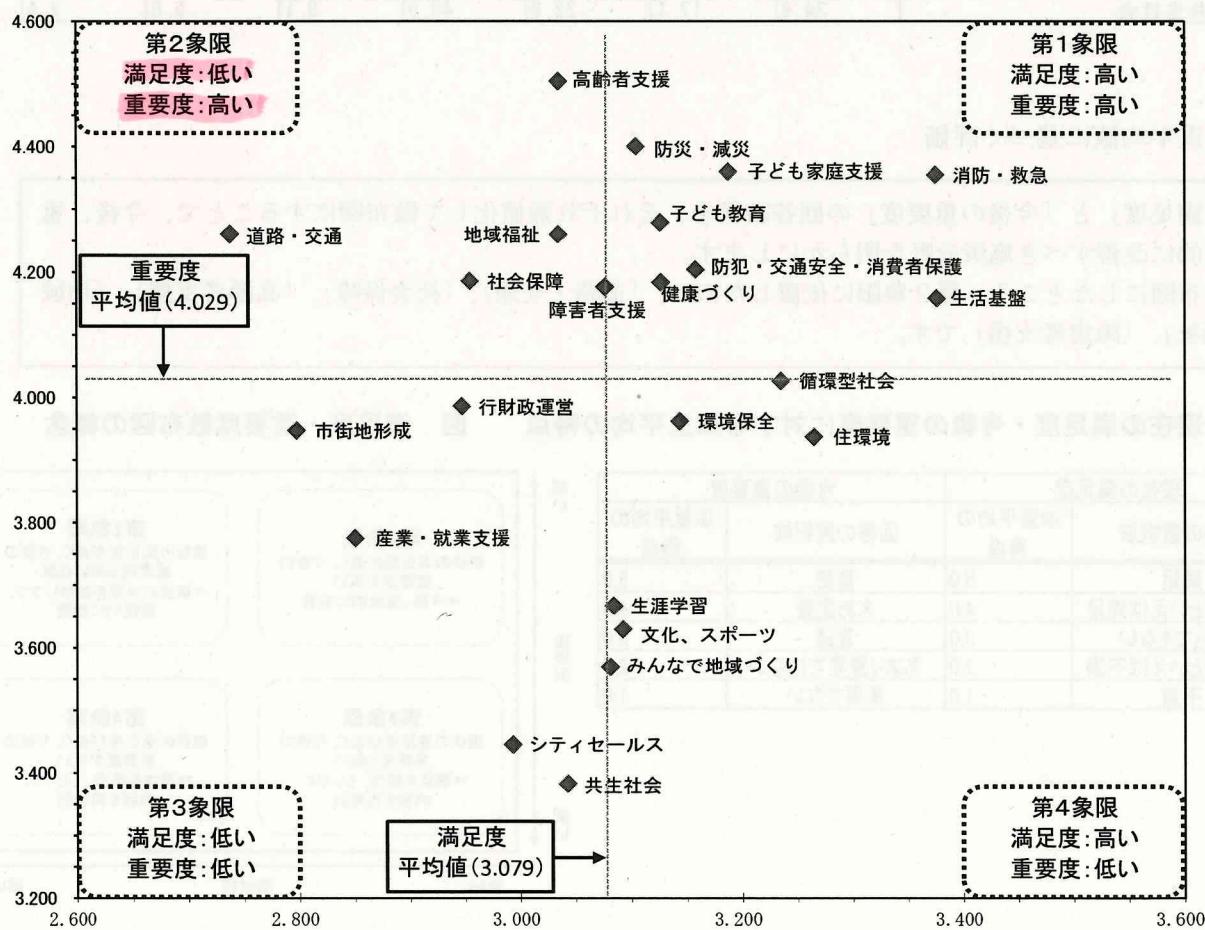


表 加重平均値に基づく評価

施策分野		満足度平均値	重要度平均値
1	子ども家庭支援	3.188	4.361
2	高齢者支援	3.035	4.505
3	障害者支援	3.077	4.177
4	地域福祉	3.035	4.261
5	健康づくり	3.127	4.184
6	社会保障	2.954	4.186
7	防災・減災	3.105	4.401
8	消防・救急	3.375	4.355
9	防犯・交通安全・消費者保護	3.158	4.205
10	子ども教育	3.126	4.279
11	生涯学習	3.084	3.668
12	文化、スポーツ	3.092	3.631
13	環境保全	3.144	3.963
14	循環型社会	3.235	4.027
15	住環境	3.265	3.938
16	生活基盤	3.376	4.159
17	道路・交通	2.738	4.261
18	市街地形成	2.798	3.948
19	産業・就業支援	2.850	3.776
20	みんなで地域づくり	3.081	3.570
21	シティセールス	2.993	3.446
22	行財政運営	2.947	3.987
23	共生社会	3.043	3.384
全体平均		3.079	4.029

図 現在の満足度・今後の重要度に対する加重平均値



## 5. 今後の人口減少を緩やかにする取組について

### (1) 人口減少の見通しを知っていたか

問5 あなたは、現在人口増加基調を維持している本市においても、将来人口は、平成52年（2040年）には、7.4万人（常住人口）に減少していることが予測されている状況をご存じでしたか。（あてはまるものに○）

7割以上が、「知らなかった」と回答

- 将来人口が平成52年（2040年）には、7.4万人（常住人口）（国立社会保障・人口問題研究所の将来推計）に減少していることが予測されている状況を知っていたかについては、「知っていた」が23.2%、「知らなかった」70.9%となっています。

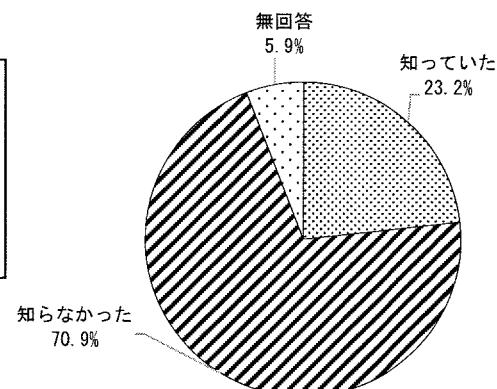


図 人口減少の予測について (n=1,549)

### (2) 人口減少社会に対応する取組について

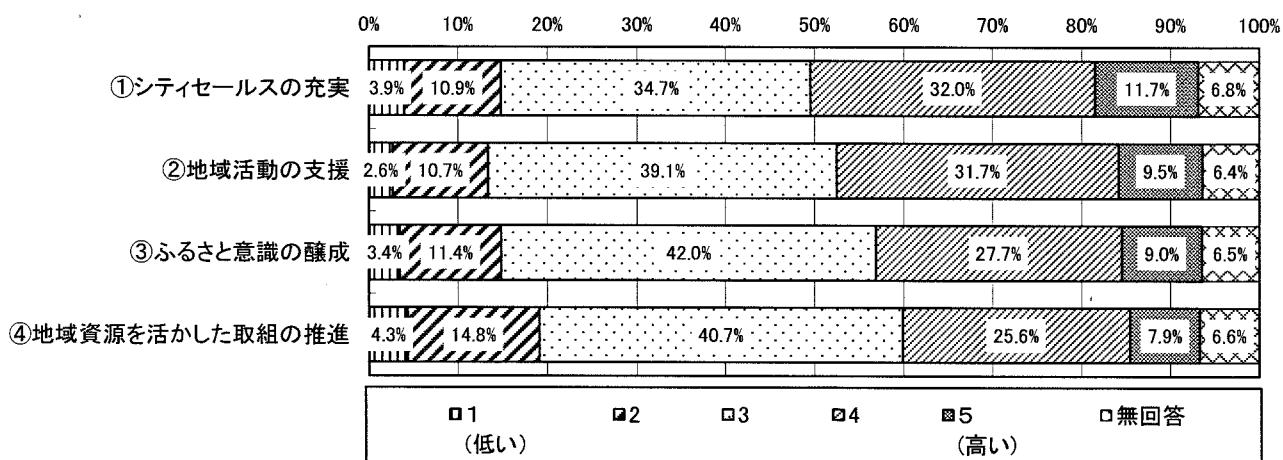
問6 本市が将来的な人口減少を緩やかにするために、また、この人口減少社会に的確に対応するために、優先して取り組むべきこととして、特に効果が高いと考えられるもの（1から5の中から選んで○） 1（優先度合が低い） ⇄ 5（優先度合が高い）

【四街道市への人の流れを創る】について優先して取り組むべきこと

「シティセールス」が最も高く、「地域資源」が最も低い

- 【四街道市への人の流れを創る】について優先して取り組むべきことは、「①シティセールスの充実」が43.7%（4が32.0%、5が11.7%）と最も高く、「④地域資源を活かした取組みの推進」が33.5%（4が25.6%、5が7.9%）と最も低くなっています。

図 優先して取り組む度合い【四街道市への人の流れを創る】(n=1,549)

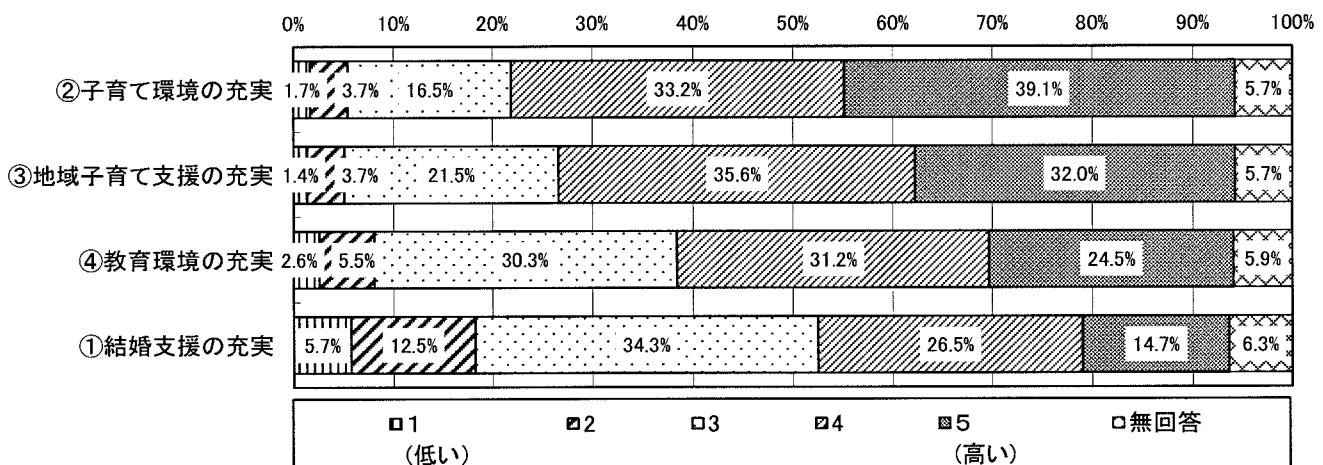


## 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】について優先して取り組むべきこと

「子育て環境の充実」が最も高く、「結婚支援の充実」が最も低い

- 【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】について優先して取り組むべきことは、「②子育て環境の充実」が 72.3%（4 が 33.2%、5 が 39.1%）と最も高く、「①結婚支援の充実」が 41.2%（4 が 26.5%、5 が 14.7%）と最も低くなっています。

図 優先して取り組む度合い【結婚・出産・子育ての希望をかなえる】(n=1,549)

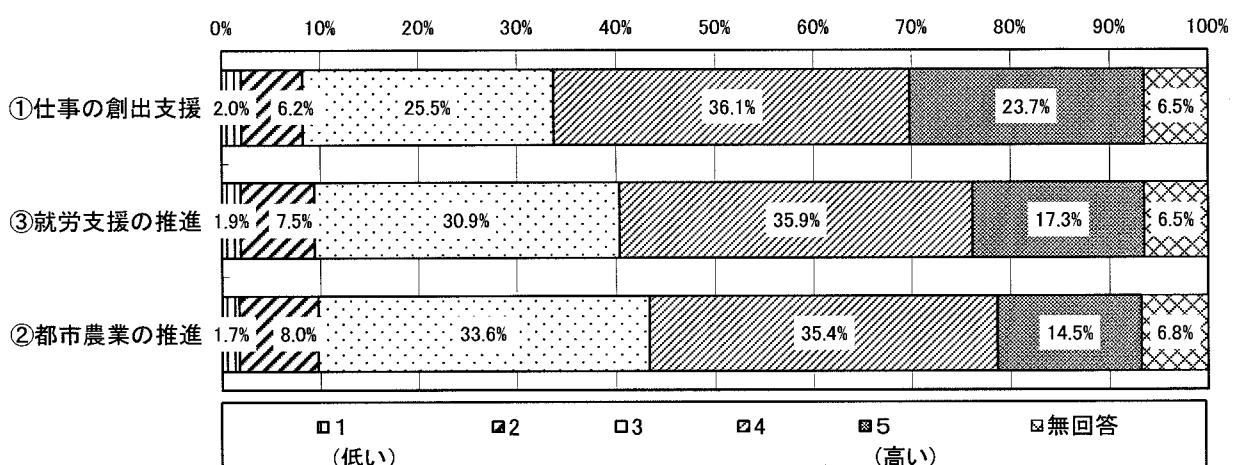


## 【地域における安定した雇用を確保する】について優先して取り組むべきこと

「仕事の創出支援」が最も高く、「都市農業の推進」が最も低い

- 【地域における安定した雇用を確保する】について優先して取り組むべきことは、「①仕事の創出支援」が 59.8%（4 が 36.1%、5 が 23.7%）と最も高く、「②都市農業の推進」が 49.9%（4 が 35.4%、5 が 14.5%）と最も低くなっています。

図 優先して取り組む度合い【地域における安定した雇用を確保する】(n=1,549)

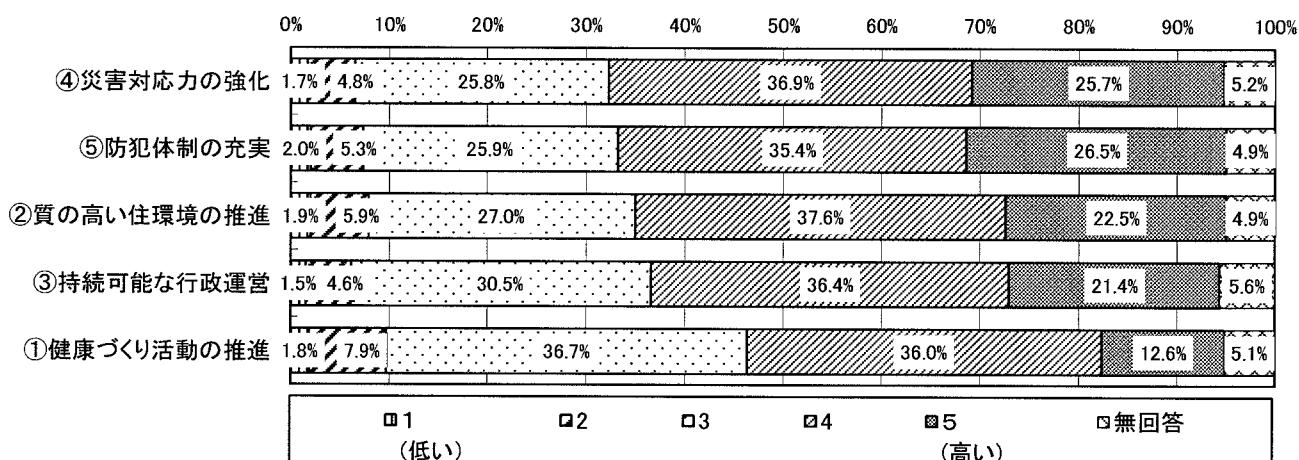


## 【安心で快適な暮らしを守る】について優先して取り組むべきこと

「災害対応力の強化」が最も高く、「健康づくり活動の推進」が最も低い。

- 【安心で快適な暮らしを守る】について優先して取り組むべきことは、「④災害対応力の強化」が 62.6%（4が 36.9%、5が 25.7%）と最も高く、「①健康づくり活動の推進」が 48.6%（4が 36.0%、5が 12.6%）と最も低くなっている。

図 優先して取り組む度合い【安心で快適な暮らしを守る】(n=1,549)



### (3) 四街道市の魅力について

問7 本市に人を呼び込むには、本市が持つ魅力を最大限に活用・発信し、認知度を高めることが重要です。このような取組を行う際、本市がPRすべきものは何であるとお考えですか。（項目ごとに内容を記載）

#### 【四街道市の誇り・宝物（シンボル）】

「自然環境」が最も多い。

- 【四街道市の誇り・宝物（シンボル）】としてPRすべきものは、「自然環境」（146件）が最も多く、次いで「水がおいしい」（38件）、「災害に強い」（36件）、「住環境の良さ」（32件）などが多くなっています。

表 四街道市の誇り・宝物（シンボル）の件数 n=813

四街道の誇り・宝物（シンボル）	件数
1 自然環境	146
2 水がおいしい	38
3 災害に強い	36
4 住環境の良さ	32
5 里山	28
6 ガス灯	27
7 お祭り	23
8 公園	22
9 立地の良さ	22
10 交通の便が良い	22

お祭り	和良比はだか祭り（16）、ふるさと祭り、産業まつり（3）
公園	中央公園（9）、総合公園（5）、運動公園（2）、吉岡運動公園（2）

## 【来訪者を案内したい市内の場所・イベント】

「お祭り」が最も多い。

- 【来訪者を案内したい市内の場所・イベント】としてPRすべきものは、「お祭り」(317件)が最も多く、次いで「四街道総合公園等の公園」(104件)、「四街道ガス灯ロードレース大会」(85件)などが多くなっています。

表 来訪者を案内したい市内の場所・イベントの件数 n=856

来訪者を案内したい市内の場所・イベント	件数
1 お祭り	317
2 四街道総合公園等の公園	104
3 四街道ガス灯ロードレース大会	85
4 花火大会	21
5 里山	19
6 桜	16
7 ガス灯通り	14
8 四街道文化センター(イベント含む)	13
9 イトーヨーカドー	11
9 神社・寺院	11

お祭り	ふるさとまつり(122)、和良比はだか祭り(82)、産業まつり(56)、公民館まつり、社協まつり、みそら祭り、盆踊り、ソーラン祭り、千代田鯉のぼり祭り(2)
総合公園等の公園	四街道総合公園(41)、四街道中央公園(20)、美しが丘近隣公園(2)、物井さとくらし公園、鷹の台公園(1)
桜	福星寺(11)

## 【四街道市のお土産として推奨したいもの】

「梨」が最も多い。

- 【四街道市のお土産として推奨したいもの】としてPRすべきものは、「梨」(187件)が最も多く、次いで「ピーナッツ」(137件)、「野菜」(38件)、「和菓子」(35件)などが多くなっています。

表 四街道市のお土産として推奨したいものの件数 n=789

四街道市のお土産として推奨したいもの	件数
1 梨	187
2 ピーナッツ	137
3 野菜	38
4 和菓子	35
5 いちご	22
6 よつばくんのグッズ	20
7 農産物	19
8 パン	18
9 洋菓子	16
10 果物	11

和菓子	舟いち(15)、福島製菓店(11)、芋羊羹(1)
パン	ティンカーベル、四街道あんぱん(3)、鹿放パン、ボースイエル(2)、ハースプラウン(プレミアムあんぱん)、harupanハルパン(1)
洋菓子	ディジョン(5)、よつたまプリン(4)、ボヌール洋菓子店(2)、四つグルメのクッキー(1)

#### (4) 四街道市をもっと魅力的にするモノ・コトについて

問8 本市をもっと魅力的にするモノ（施設・製品等）・コト（サービス・体験等）は何であるとお考えですか。その内容を記載してください。

「文化施設」が最も多い。

■【本市をもっと魅力的にするモノ（施設・製品等）・コト（サービス・体験等）】は、「文化施設」(65件)が最も多く、次いで「子育て支援」(56件)、「総合商業施設」(47件)、「娯楽施設」(45件)などが多くなっています。

表 モノ（施設・製品等）・コト（サービス・体験等）の件数 n=751

もっと魅力的にするモノ・コト		件数
1	文化施設	65
2	子育て支援	56
3	総合商業施設	47
4	娯楽施設	45
5	交通の利便性	40
6	市政	38
7	四街道ならではのもの(開発含む)	37
8	福祉	36
9	イベント、行事	35
10	駅前・中の開発	32

文化施設	図書館(21)、美術館(5)、文化財展示館、市民ギャラリー、出土器を収納する施設、文化センター(2)、3~500席のホール、絵画館(1)
総合商業施設	大型ショッピングモール(18)、イオン(9)、アウトレットモール(2)、飲食、物販等の有名店(3)
娯楽施設	映画館(19)、温泉・銭湯(6)、自然を生かしたレジャー施設(3)、植物園・動物園(1)
四街道ならではのもの	ゆるキャラ(5)、めずらしい施設やもの、よつぼくん(3)、野菜・果物を使用したお菓子(2)、新しい住宅地の開発、ご当地グルメ、桜並木、体験施設、農産物を生かした商品、ご当地ナンバー、梨マラソンの開催、シンボルタワー、ガス灯のキャラクター(1)
イベント・行事	スポーツイベント(5)、イベントのPR、伝統行事、若者が興味を持つイベント(2)

